

ホウレンソウケナガコナダニの防除には カスケード乳剤+アプローチBIが有効です!!

上手な使い方

殺虫剤



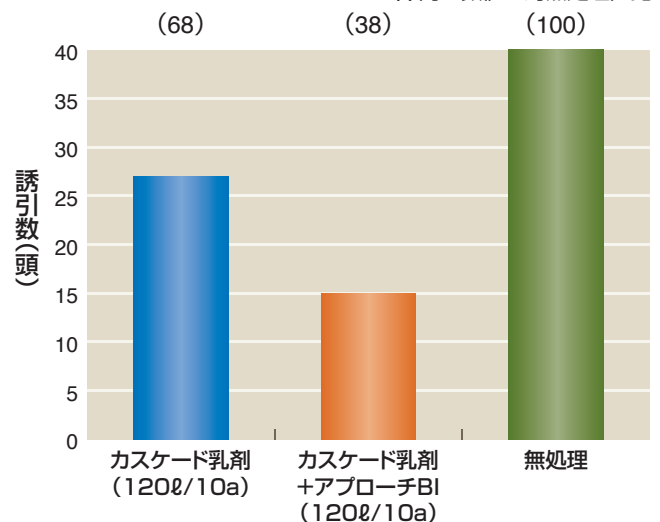
- 土壌中の生息密度を低下させるため土壌処理剤（コテツベイト等）と併用してください。
- 本葉2～4葉期に薬液が十分かかるような多めの散布液200～300ℓ/10aで圃場の隅々までていねいに散布してください。
- カスケード乳剤は幼虫に対して効果を発揮しますが、成虫には効果が期待できないので密度が高まる前に早めに散布してください。
- **アプローチBI(2000倍)を添加すると効果がアップします。**

試験事例

2008年度
福井県農業試験場生産環境部 病理昆虫研究グループ

ホウレンソウケナガコナダニのトラップ誘引数

()内の数値は対無処理区比



【処理・調査方法】

コナダニが生息している土壌を容器に7～8cmの厚さで詰め、その土壌表面にカスケード乳剤4000倍を所定水量で散布。展着剤はアプローチBIを2000倍で添加した。処理3日後にトラップを設置し、設置3日後に誘引数を計測した。
※製品名の下部には散布水量を記載

登録内容と使用方法



- 登録番号:第18500号
- 有効成分:フルフェノクスロン……10.0%
- 毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

殺虫剤分類 **15**

(ほうれんそうのみ抜粋)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ シロオビノメイガ ハウレンソウケナガコナダニ アシダラハモグリバエ	4000倍	100~ 300ℓ/10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内

アプローチ BI

- 登録番号:第15763号
- 有効成分:ポリオキシエチレンヘキシタン脂肪酸エステル…50.0% (イソプロピルアルコール20~30%含有)
- 毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称) (殺虫剤の野菜類のみ抜粋)

適用農薬名	作物名	使用量	使用方法
殺虫剤	野菜類	5mℓ/10ℓ	添加
		10mℓ/10ℓ	

※販売取扱:丸和バイオケミカル株式会社(製品HP)<http://www.mbc-g.co.jp/product/21.html>

カスケード乳剤は100以上の作物に登録があります。最新の登録内容はこちらから。



ハウレンソウケナガコナダニの生態

- ハウレンソウケナガコナダニは、体長0.5mm前後の乳白色の小さなダニで、土壌中の未分解有機物(稲わら等)で増殖し、その一部がハウレンソウを加害します。
- 被害が多いのは施設栽培で、比較的低温、多湿を好み、春と秋に多く発生します。
- 7℃以上で成長し、30℃で弱り、35℃では生存できません。メス1頭は500卵程度産卵し、極めて雑食性で、卵以外の全ステージで加害します。



ハウレンソウケナガコナダニの被害株(新芽に黒い褐変症状)

以下のような耕種的防除も参考にしてください。

- 太陽熱消毒等の土壌消毒でダニの密度を下げましょう
- 未熟な有機質資材の施用を控えましょう
- 間引き株、収穫残さは圃場から出しましょう
コナダニのエサとなる有機物は入れないように!
- 土壌がひび割れないよう灌水しましょう (灌水チューブは下向きに)
土壌が乾くと、湿気を好むコナダニは葉に移動してきます!



ハウレンソウケナガコナダニ成虫

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

このチラシの記載内容は2021年9月現在のものです。